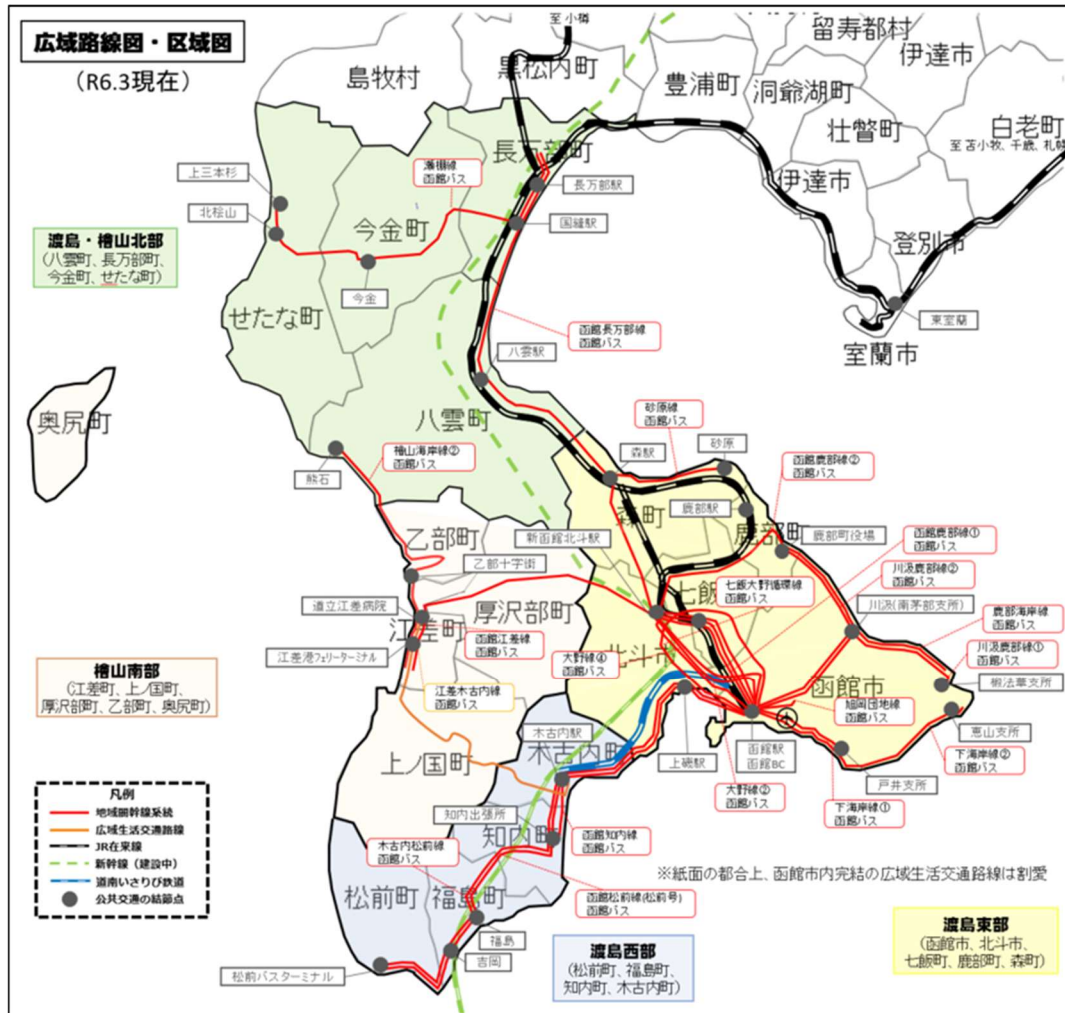


道南地域公共交通計画 概要

趣旨	本地域に必要な交通手段の確保に向け、北海道渡島総合振興局及び北海道檜山振興局が中心となり、国、市町、交通事業者など地域の関係者ととも、道南地域を対象とする広域的なバス路線を中心とした「道南地域公共交通計画」を策定する。																					
計画期間	令和6年度（2024年度）～令和10年度（2028年度）の5年間																					
目指すべき将来像	道南地域の関係者が連携した持続可能な公共交通の確保																					
基本方針・目標・施策	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="376 357 696 395">基本方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="376 411 696 639"> 基本方針① 地域住民の日常生活や周遊観光に不可欠な広域路線の維持・確保 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 667 696 1066"> 基本方針② 他の交通モードとの接続強化など広域路線の持続性・利便性の向上 </td> </tr> </tbody> </table>	基本方針	基本方針① 地域住民の日常生活や周遊観光に不可欠な広域路線の維持・確保	基本方針② 他の交通モードとの接続強化など広域路線の持続性・利便性の向上	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="754 357 1016 395">目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="754 411 1016 639"> 目標① 持続的な公共交通ネットワークの構築 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="754 667 1016 1066"> 目標② 公共交通に対する意識醸成や利便性の向上等による利用促進 </td> </tr> </tbody> </table>	目標	目標① 持続的な公共交通ネットワークの構築	目標② 公共交通に対する意識醸成や利便性の向上等による利用促進	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1075 357 1525 395">施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1075 411 1525 512"> 施策① 持続的な公共交通ネットワークの確保に向けた圏域別検討体制の構築 </td> <td data-bbox="1525 411 2170 512"> ・路線の維持・確保・最適化に向けた検討・協議 （路線ごとの維持・確保方針は次頁のとおり） ・交通拠点の機能充実にに向けた検討 など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1075 539 1525 639"> 施策② 広域路線の運行の維持・確保・最適化 </td> <td data-bbox="1525 539 2170 639"> ・乗換の利便性等を考慮した運行ダイヤ、経路、便数、運行形態の見直し など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1075 667 1525 735"> 施策③ 乗換・待合環境の向上 </td> <td data-bbox="1525 667 2170 735"> ・バスロケーションシステムなど ICT 技術の活用 ・待合環境の整備 など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1075 762 1525 863"> 施策④ バス運転手等の担い手確保 </td> <td data-bbox="1525 762 2170 863"> ・就職相談会の開催や情報発信 ・学生に向けた業務内容の情報発信 ・交通事業者による労働環境の改善 など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1075 890 1525 959"> 施策⑤ 公共交通の利用に向けた意識醸成 </td> <td data-bbox="1525 890 2170 959"> ・道南地域のバスマップの作成・周知 ・児童・生徒向けバス乗車体験等の実施 など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1075 986 1525 1066"> 施策⑥ 観光誘客による公共交通の利用促進 </td> <td data-bbox="1525 986 2170 1066"> ・観光振興策と連携した利用促進 ・観光利用の多い駅等の乗換利便性の向上 など </td> </tr> </tbody> </table>	施策	施策① 持続的な公共交通ネットワークの確保に向けた圏域別検討体制の構築	・路線の維持・確保・最適化に向けた検討・協議 （路線ごとの維持・確保方針は次頁のとおり） ・交通拠点の機能充実にに向けた検討 など	施策② 広域路線の運行の維持・確保・最適化	・乗換の利便性等を考慮した運行ダイヤ、経路、便数、運行形態の見直し など	施策③ 乗換・待合環境の向上	・バスロケーションシステムなど ICT 技術の活用 ・待合環境の整備 など	施策④ バス運転手等の担い手確保	・就職相談会の開催や情報発信 ・学生に向けた業務内容の情報発信 ・交通事業者による労働環境の改善 など	施策⑤ 公共交通の利用に向けた意識醸成	・道南地域のバスマップの作成・周知 ・児童・生徒向けバス乗車体験等の実施 など	施策⑥ 観光誘客による公共交通の利用促進	・観光振興策と連携した利用促進 ・観光利用の多い駅等の乗換利便性の向上 など
基本方針																						
基本方針① 地域住民の日常生活や周遊観光に不可欠な広域路線の維持・確保																						
基本方針② 他の交通モードとの接続強化など広域路線の持続性・利便性の向上																						
目標																						
目標① 持続的な公共交通ネットワークの構築																						
目標② 公共交通に対する意識醸成や利便性の向上等による利用促進																						
施策																						
施策① 持続的な公共交通ネットワークの確保に向けた圏域別検討体制の構築	・路線の維持・確保・最適化に向けた検討・協議 （路線ごとの維持・確保方針は次頁のとおり） ・交通拠点の機能充実にに向けた検討 など																					
施策② 広域路線の運行の維持・確保・最適化	・乗換の利便性等を考慮した運行ダイヤ、経路、便数、運行形態の見直し など																					
施策③ 乗換・待合環境の向上	・バスロケーションシステムなど ICT 技術の活用 ・待合環境の整備 など																					
施策④ バス運転手等の担い手確保	・就職相談会の開催や情報発信 ・学生に向けた業務内容の情報発信 ・交通事業者による労働環境の改善 など																					
施策⑤ 公共交通の利用に向けた意識醸成	・道南地域のバスマップの作成・周知 ・児童・生徒向けバス乗車体験等の実施 など																					
施策⑥ 観光誘客による公共交通の利用促進	・観光振興策と連携した利用促進 ・観光利用の多い駅等の乗換利便性の向上 など																					
評価指標 (KPI)	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="376 1126 826 1241" rowspan="2">評価指標</th> <th data-bbox="826 1126 1111 1169">現況値</th> <th data-bbox="1111 1126 1449 1169">目標値</th> </tr> <tr> <th data-bbox="826 1169 1111 1241">令和4年 (2022年)</th> <th data-bbox="1111 1169 1449 1241">令和10年 (2028年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="376 1241 826 1305">広域交通等の利用者数</td> <td data-bbox="826 1241 1111 1305">1,848千人/年度</td> <td data-bbox="1111 1241 1449 1305">1,962千人/年度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 1305 826 1361">広域交通等の平均収支率</td> <td data-bbox="826 1305 1111 1361">52.5%</td> <td data-bbox="1111 1305 1449 1361">58.5%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 1361 826 1425">広域交通等への公的資金投入額</td> <td data-bbox="826 1361 1111 1425">478,000千円/年度</td> <td data-bbox="1111 1361 1449 1425">450,000千円/年度</td> </tr> </tbody> </table>		評価指標	現況値	目標値	令和4年 (2022年)	令和10年 (2028年)	広域交通等の利用者数	1,848千人/年度	1,962千人/年度	広域交通等の平均収支率	52.5%	58.5%	広域交通等への公的資金投入額	478,000千円/年度	450,000千円/年度	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1471 1099 1677 1458" style="background-color: #0056b3; color: white; text-align: center; vertical-align: middle;"> PDCAサイクル </td> <td data-bbox="1677 1099 2170 1458"> 本計画（Plan）の推進にあたり、計画期間である5年間において、毎年度、施策・事業の実施状況（Do）を確認した上で、目標の達成状況（評価指標）を評価（Check）し、必要に応じて、施策・事業の見直し（Action）を検討する </td> </tr> </table>	PDCAサイクル	本計画（Plan）の推進にあたり、計画期間である5年間において、毎年度、施策・事業の実施状況（Do）を確認した上で、目標の達成状況（評価指標）を評価（Check）し、必要に応じて、施策・事業の見直し（Action）を検討する			
評価指標	現況値	目標値																				
	令和4年 (2022年)	令和10年 (2028年)																				
広域交通等の利用者数	1,848千人/年度	1,962千人/年度																				
広域交通等の平均収支率	52.5%	58.5%																				
広域交通等への公的資金投入額	478,000千円/年度	450,000千円/年度																				
PDCAサイクル	本計画（Plan）の推進にあたり、計画期間である5年間において、毎年度、施策・事業の実施状況（Do）を確認した上で、目標の達成状況（評価指標）を評価（Check）し、必要に応じて、施策・事業の見直し（Action）を検討する																					

道南地域における広域交通等に係る各路線の維持・確保方針



地域間幹線系統		
系統名		維持確保の方針
<ul style="list-style-type: none"> 大野線② 旭岡団地線 上磯線 七飯大野循環線 函館知内線 木古内松前線 	<ul style="list-style-type: none"> 大野線④ 上磯日吉線 大川富岡線 七飯富岡線① 函館松前線 (松前号) 	地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助）を活用し、利用促進に取り組むとともに、利用者の移動実態やニーズを踏まえ、ダイヤの見直しなど運行の効率化を図りながら、路線の維持に努めていく。
<ul style="list-style-type: none"> 函館鹿部線① 	<ul style="list-style-type: none"> 函館鹿部線② 	利用促進に取り組むとともに、利用者の移動実態やニーズを踏まえ、ダイヤの見直しなど運行の効率化を図りながら、路線の維持に努めていく。
<ul style="list-style-type: none"> 川汲鹿部線① 鹿部海岸線 下海岸線② 	<ul style="list-style-type: none"> 川汲鹿部線② 下海岸線① 砂原線 	利用促進に取り組むとともに、利用者の移動実態やニーズを踏まえ、路線の見直しなど最適化を図りながら路線の維持に努めていく。
<ul style="list-style-type: none"> 函館長万部線 檜山海岸線② 	<ul style="list-style-type: none"> 函館江差線 	地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助）を活用し、利用促進に取り組みながら、路線の維持に努めていく。
<ul style="list-style-type: none"> 瀬棚線 		地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助）を活用し、利用促進など収支改善に取り組むとともに、利用者の移動実態やニーズを踏まえ、利用者の少ない停留所を廃止するなどして、運行の効率化を図りながら、路線の維持に努めていく。

広域生活交通路線		
系統名		維持確保の方針
<ul style="list-style-type: none"> 美原谷地頭線 旭岡団地線 昭和船見線 農住団地線 	<ul style="list-style-type: none"> 見晴線 中の橋線② 昭和船見線② 	利用促進に取り組むとともに、利用者の移動実態やニーズを踏まえ、ダイヤの見直しなど運行の効率化を図りながら、路線の維持に努めていく。
<ul style="list-style-type: none"> 江差木古内線 		利用促進など収支改善に取り組むとともに、利用者の移動実態やニーズを踏まえ、一部の便をデマンド化するなど最適化を図りながら、路線の維持に努めていく。